

## 国立大学法人東京農工大学 V I ガイドライン

### ーブランドマーク等を使用される際の手引きー

#### はじめに

東京農工大学は、MORE SENSE（使命志向型教育研究ー美しい地球持続のための全学的努力）を基本理念に掲げ、循環型社会の実現に取り組んでいます。この理念を広く社会に理解してもらい、東京農工大学のブランド価値を向上させ、将来に向けてさらなる発展を目指してブランドマーク等を制定し、平成18年4月からあらゆる機会に使用することとしました。新しいブランドマークが本学を表現するのにふさわしい統一的なイメージとして、多くの方に長く愛用されて行くことを願っています。

このV I（ビジュアル・アイデンティティ）ガイドラインは、ブランドマークを使用される際の手引き書としてまとめましたので、ガイドラインを遵守し、正しく運用されるようお願いします。

#### 1. ブランドマーク等の紹介

##### ブランドマーク



東京農工大学の英語表記（Tokyo University of Agriculture and Technology）を基に、本学の理念とする「循環型社会の実現」をシンボル化したもので、農学（Agriculture）と工学（Technology）をグリーンとブルーの横軸で表し、循環の輪を中央に配した大変親しみやすいマークです。

ブランドマークは、朝日広告賞グランプリを始め、世界的な賞を多く受賞された、著名なアートディレクターである戸田正寿氏の制作によるもので、ブランディング・プロジェクト「UP 農工大」（東京農工大学のブランドをイメージアップするコミュニケーション戦略プロジェクト：学長がプロジェクトリーダー）において議論を重ね決定しました。

##### スクールカラー

CMYK	特色
 C 85 Y 85	 TOYO 94 CF 0274
 C 100 M 70	 TOYO 94 CF 0435

スクールカラーの基本色は、日本の岩絵の具の「青」から生まれた温かみのあるイブ・クライン・ブルーです。グリーンとブルーの2色を組合わせて使用することも出来ます。

## ブランドステートメント

### 「地球をまわそう。MORE SENSE! 農工大」

ブランドステートメントは、卒業生、在学生、教職員の応募作品の中から、ブランディング・プロジェクト「UP 農工大」においてされた最優秀作品を、本学客員教授であり日本を代表するコピーライターである眞木準氏が補作のうえ、決定しました。

本学の理念とする「循環型社会の実現」を地球の明るいイメージで表現したものです。

## 徽章



昭和31年10月に、桐の葉に大学の文字を配した現徽章を公認・制定しました。桐は、「その涼しい木陰を吹き抜ける風に乗って大空に羽ばたく」ような自由さをイメージさせ、「大空に力強く伸び、輝ける未来を示唆している。」「防風の役目をして世の中の役に立つ。」などの意味があるといわれています。

この徽章は伝統あるシンボルとして、今後とも校旗、卒業証書、公式文書などで使用します。

## 2. 著作権について

ブランドマークの著作権は国立大学法人東京農工大学にあります。無断で使用することは禁じられています。次の使用基準及び手続きに従ってご利用下さい。

## 3. 使用基準

- ① 大学の事業に関する施策の普及又は広報に寄与すること。もしくは教育、学術、文化、スポーツの普及・向上に寄与すること。
- ② 大学のイメージや品位を傷つけないこと。

## 4. 使用手続きについて（学外者を含む）

- ① 大学の活動、業務としてブランドマーク等を使用する場合（名刺、封筒・便箋、FAX 送信票、テンプレート等）は、使用届を提出する必要はありません。  
使用には、デザインマニュアルを参照してください。
- ② 大学の活動、業務以外の目的でブランドマーク等を印刷物、物品、催し物等（ポスター・看板類、Tシャツ・ユニフォーム等）に使用する場合は、あらかじめ使用届を下記担当窓口へ提出しなければなりません。  
なお、内容によっては使用を認めないことがあります。

申請者	担当窓口
教職員	企画課
学生団体	学務課
同窓会及び卒業生	企画課
その他（生協など）	企画課

ブランドマーク使用申請書は、[こちら](#)からダウンロードしてください。

- ③ 営利・販売を目的として使用する場合は、事前に企画課までご相談ください。

## 5. データの配布について

データは学内のみダウンロードできます。

### 〔ダウンロード〕

- ① シンボル（ロゴ）マークセット  
AI 形式（イラストレーター）→[こちら](#)
- ② 個別シンボル（ロゴ）マーク  
GIF 形式→[こちら](#)  
JPG 形式→[こちら](#)
- ③ 名刺・レターヘッド・パワーポイントテンプレート  
Word 形式→[こちら](#)  
PPT 形式→[こちら](#)

### 〔デザインマニュアル〕 →[こちら](#)

名刺、封筒等はデザイン例の中に掲載していますので、例に従って作成してください。デザイン例に示してある位置やカラーを変えることはできませんが、個人データは自由に記載できます。個人でパソコン等を利用して名刺を作成することもできます。

(例)

名刺  
封筒  
レターヘッド  
パワーポイントテンプレート  
学生証  
職員証  
ペナント  
マグカップ